

昭和49年松代町書初展覧会特選



「とらら」

福原 まさお
松代小学校 1年

「ゆき」

柳 直行
松代小学校 2年

「雪まつり」

山賀 和美
松代小学校小屋丸分校 3年

「春の七草」

中村 千恵美
松代小学校 4年

「大きな夢」

南 雲 元子
松代小学校 5年

「初春の光」

若月 比呂美
松代小学校 6年

「越佐の春」

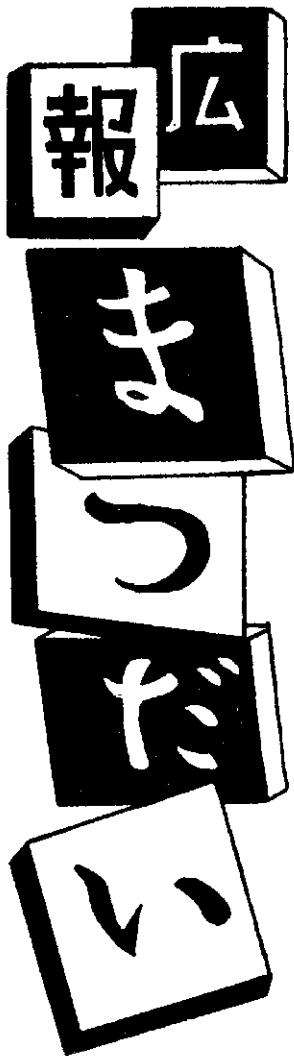
池田 久美子
山平中学校 1年

「高山白雪」

斉藤 秀一
山平中学校 2年

「未来抱負」

樋口 美枝子
松代中学校 3年



昭和49年2月10日発行
第171号
東頸城郡松代町公民館
館長 関谷 昭平
電話 松代 301番
印刷 松代印刷所

子牛1戸2頭生産農家一覽 (昭和48年度)

畜 部	落 氏	主 名	第 1 子		第 2 子		販 金	売 額	計	
			性	販売月	販売金額	性				販売月
蓬 儀	平 明	小 若 小 小 小 小 山	雄 太 郎 吉 一 真 平 郎	メス	6	210,800	メス	8	270,500	481,300
				メス	10	320,100	メス	10	320,000	640,100
				メス	10	270,600	オス	11	270,100	540,700
				メス	7	230,100	メス	10	341,100	571,200
下 池	山 畑	小 若 小 小 小 山	元 之 真 平 郎	オス	11	268,500	メス	11	270,000	538,500
				メス	7	268,500	メス	11	341,600	610,100
				メス	9	308,500	メス	11	286,500	595,000
				メス	6	226,400	メス	11	248,600	475,000
計	8 名	平均1戸販売収入	556,488円							

町内で繁殖牛を二頭飼育して二頭の子牛を生産し家畜市場で販売した農家は別表のとおり八戸ありそれぞれ相当の収入がありました

繁殖牛多頭飼育農家の紹介

耕転機のいまだ普及しない昭和三六年には一―二八頭の牛が飼われており殆んど一戸一頭飼いでしたが昨四八年には一九六戸で三四三頭に減少し「子とり」は殆んど一頭飼いで多頭飼いは肥育でした。その中において「子とり」牛二頭飼って「子とり」に真剣にとりくみ幸いに子牛価格の高値によりようやくその苦勞が実をむすんだ

と書えるでしょう。

昨年の子牛価格は異常な高値としても、今後急に暴落するような要因が見あたりませんので、子牛の生産も農業経営の上に、立派に一役かうものと考えられます。本年は二頭以上子牛を生産される農家は一五戸予定され、一戸四―五頭生産される方もある状況です。尚、町では、生産牛の多頭飼育農家育成のため、二頭生産された農家に二万円の奨励金を差上げる

「隣にも声かけあつてよい防火」

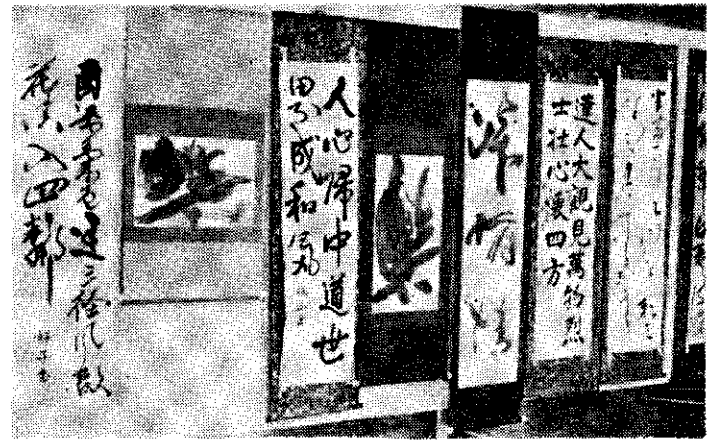
月別に火災原因を調べてみますと、冬季間は石油ストーブの取扱不注意、コタツ、アンカなどによる火事が多く、年間を通して今この時期が一番火災の多い時です。火の元に十分注意すると共に、消火器の点検や取扱い、それにバケツにも水を満して用意しておきましょう。

六つの警句

- 老人、子供、病人は階下に寝かせましょう。
- からだの不自由な子供だけ残して外出するのはやめましょう。
- 二階以上の建物に住むときは、避難のためのはしごやロープなどを用意しましょう。
- いったん逃げたら、二度ともどらないようにしましょう。
- 鉄格子、はめ殺しの窓は、できるだけ少なくしましょう。
- 煙から逃げるときは、はって逃げましょう。

おでかけになる時、おやすみになる時には、もう一度火の元の点検をいたしましょう。

—松代分遣所—



ご出品ありがとうございます

書初展覧会盛大に終る

- 各学校のご協力と、一般の皆様から多数ご出品していただいた書初展覧会は、1月18日と19日の2日間、皆様の観覧を得て盛大に終了いたしました。
- 尚小学校・中学校の部の特選は上段(写真)の通りであり、準特選・総出品点数は次の通りです。
- | | | | | | |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|----------------|
| 小学校準特選 | 1年 柳 いずみ (松代小) | 2年 西潟 りん子 (室野小) | もとやなぎ きよし (北山小) | 西潟 りん子 (室野小) | さとう ふみあき (北山小) |
| 中学校準特選 | 1年 佐藤 公子 (奴奈川中) | 2年 齊木 佳子 (〃) | 3年 菅井 里美 (〃) | 村山 佐恵子 (〃) | 山賀 順子 (〃) |
| 小学校の部 | 一―二四点 | 中学校の部 | 三五点 | 一般の部 | 五一点(四五名) |
| 小学校の部 | 小山 準一 (筋平分) | 4年 | 柳 広美 (室野小) | 5年 | 市川 義久 (小丸丸分) |
| 4年 | 山本千恵美 (孟地小) | 6年 | 高野 通子 (松代小) | 5年 | 高野 通子 (松代小) |

松代町の人口 十五年間で 五千人余減少

これから一層住み良くなる町なのに…

昭和三十四年に奴奈川村と合併して十五年になります。この間昭和三十七、八年頃から急激に人口の減少が目だちはじめ、本年一月一日までに五、一八六人が減少しました。最近では、漸く減少に歯止めがかかった感じがいたします。

松代町は、ここ三、四年で大きく変わろうとしています。鉄道が開通し、国道二五三号線が整備され、又、幹線と部落間の道路が整備されて無雪庄雪による交通の便が良くなれば、出稼先から自分の好き

な時に帰れるようになり、出稼はもう今までのような出稼ではなくなり土帰月来の夢も可能になるのではないのでしょうか。
工場の進出も多くなりつつあります。この土地での雇用の需用も増してくるものと思われれます。
松代町はこれから段々と良くなってきます。公害、災害の少ないしかも自然環境に恵まれた松代、離村された方が又もどって来る時代がやってくるかも知れません。

松代町人口の推移

字 名	昭和34年(1月1日現)				昭和49年(1月1日現)				15年間減少数	15年間減少率
	男	女	人口計	世帯数	男	女	人口計	世帯数		
代戸平	902	960	1,862	392	832	850	1,682	447	180	9.67%
小太菅	109	128	237	38	80	78	158	37	79	33.33
荒屋之	82	87	169	32	58	69	127	27	42	24.85
刈沢丸	154	154	308	52	97	99	196	46	112	36.36
山年尻	126	120	246	37	76	77	153	33	93	37.80
沢山	69	63	132	25	37	24	61	19	71	53.79
下千池	79	82	161	25	56	51	107	23	54	33.54
会清桐	132	124	256	39	76	86	162	33	94	36.72
蓬東海	270	295	565	92	169	210	379	82	186	32.92
犬大孟	99	111	210	32	49	52	101	20	109	51.90
片山	163	157	320	52	87	94	181	49	139	43.44
山平	217	221	438	77	115	130	245	58	193	44.06
山老	119	126	245	47	75	75	150	37	95	38.78
伏地	259	261	520	85	164	171	335	72	185	35.58
山沢	33	24	57	9	18	20	38	8	19	33.33
山子	156	145	301	52	83	70	153	40	148	49.17
山伏	277	286	563	106	179	172	351	79	212	37.66
山山	80	84	164	28	62	50	112	31	52	31.71
山山	55	51	106	17	29	23	52	11	54	50.94
山山	93	70	163	29	41	30	71	19	92	56.44
山山	37	33	70	10	16	9	25	8	45	64.29
山山	115	102	217	50	64	69	133	31	84	38.71
山山	178	172	350	71	115	113	228	56	122	34.86
山山	106	118	224	43	69	78	147	31	77	34.38
山山	145	155	300	55	69	66	135	39	165	55.00
山山	161	170	331	56	84	76	160	42	171	51.66
山山	51	58	109	18	30	27	57	13	52	47.71
山山	88	79	167	30	24	25	49	15	118	70.66
山山	222	226	448	80	104	103	207	51	241	53.79
山山	108	119	227	43	37	35	72	20	155	68.28
山山	429	396	825	153	238	214	452	120	373	45.21
山山	286	280	566	96	188	179	367	85	199	35.16
山山	146	163	309	56	84	85	169	41	140	45.31
山山	67	63	130	24	37	37	79	20	51	39.23
山山	634	647	1,281	234	394	430	824	203	457	35.68
山山	105	128	233	39	65	69	134	32	99	42.49
山山	97	90	187	34	43	35	78	24	109	58.29
山山	196	226	422	67	136	126	262	56	160	37.91
山山	166	182	348	60	93	96	189	43	159	45.69
木和計	6,811	6,956	13,767	2,485	4,278	4,303	8,581	2,101	5,186	37.67

減少の原因は転出が多いように推計されますが、自然減の出生の少ないことも大きな原因の一つで皆さんが子を生まなくなつたための減少も見落すことができません。

冬を健康で

栄養を充分にとつて……

自動車を動かすのがガソリンなら、人間を動かすのは食物です。質の良いガソリンを使えば車に無理が来ないように、質の良い栄養価の高い食物をとれば身体は健康で毎日元気で動けることになります。

蛋白質、脂肪、ビタミンを多く含んだ食物をかたよらないでバランスのとれるよう、いろいろな種類を数多く食べることが大切です。

次のものは比較的手に入り易くしかも栄養価が高いので多く食べるように心がけて下さい。

品 目	蛋白質 100g中量 含有量	脂 肪 100g中量 含有量
【大豆製品】		
きな粉	38.4g	19.2g
とうふ	53.4	26.4
凍油納と	18.6	31.4
う	16.5	10.0
豆腐	6.0	3.5
【魚肉類】		
さば水	18.5	8.0
煮魚	20.5	5.4
詰	44.5	24.0
しん	49.1	6.8
(干)	20.4	6.3
(家)	16.9	7.8
(野)	16.1	32.5
卵(黄味)		

◎脂肪を多くとるには次のものを

食べて下さい。
植物油、バター、マーガリン、牛脂、豚脂、くるみ、ごま、かぼちやの実、落花生。

◎ビタミンを多くとるには次のものを食べて下さい。

果実類
みかん、夏みかん、はっさく、さつまいも、馬れい薯、(さつまいも、馬れい薯には非常に多くのビタミンCが含まれています)

緑黄野菜等
にんじん、ホーレン草、パセリ、ピーマン、かんぴょう、にんにく、花野菜。

国民年金保険料が

一月分から引き上げられました

国民年金の保険料が四九年一月から次のように改訂されます。

定額分 月五五〇円が九〇〇円に
 附加分 月三五〇円が四〇〇円に
 五年年金月七五〇円が九〇〇円に
 (附加年金は、年寄りになって年金を多くもらいたい人が希望で加入できる制度です)

国民年金の保険料は、大部分の方のご了解をいただき、農協の預金講座から引き落しをさせていただいております。

年金額が大巾アップ

国民年金は、保険料の引き上げとともに支給される年金額も次のように大幅に引き上げられます。

▲抛出年金 (四九年一月分から)
 定額分 320円×納付年数×標準額
 が 800円× 〃 〃 〃 〃
 附加分 180円× 〃 〃 〃 〃
 が 200円× 〃 〃 〃 〃

二十才から加入して六十才までの四十年間保険料を納めた人の年金額は 800円×480円=384,000円になります。

附加年金は 200円×480円=96,000円になります。

合計して四八万円の年金がもらえることになり一ヶ月四万円になります、夫婦で一ヶ月八万円になりますから充分に生活できる年金になったわけです。

▲十年年金
 月五千円が一万二千五百円に
 五年年金
 月二千五百円が八千円に

▲障害年金
 一級月一万一千円が二万五千円
 二級月八千八百円が二万円に
 ▲母子年金
 月八千四百円が二万円に

▲福祉年金 (四八年十月分から)
 (お金を納めないでもらう年金)
 老令福祉年金
 月三千三百円が五千円に
 障害福祉年金
 一級月五千円が七千五百円に
 母子福祉年金
 月四千三百円が六千五百円に

松代町が総合優勝

松之山町スキー大会で

二月十日に松之山町松里地区で開催された松之山町スキー大会に松代町から選手と応援者約百名が大挙参加、成年の部、壮年の部の二つの総合優勝を始め松代小学校松代高校が優秀な成績を納めた。

◎距離

- 幼年B (小学生)
- 一位 万羽琢哉 (松代小)
 - 二位 関谷武久 (松代小)
 - 三位 市川義久 (小屋丸分)
 - 幼女 (小学女子)
 - 一位 山賀順子 (小屋丸分)
 - 二位 高橋直子 (松代小)

◎大回転

- 成年女子
- 一位 高橋好子 (松代高校)
 - 二位 佐藤和子 (松代高校)
 - 高校生
 - 三位 鈴木英郎 (松代高校)
 - 一般成年

◎リレー

- 幼年 (小学生)
- 一位 松代小学校Aチーム
 - 二位 松代小学校Bチーム
 - 一般・高校
 - 三位 松代高等学校Aチーム

- 一位 竹内修一 (松代高OB)
 三位 相沢哲夫 (役場)

◎回転

- 幼年 (小学生)
- 一位 関谷 毅 (松代小)
 - 二位 若月 等 (松代小)
 - 高校生
 - 一位 鈴木英郎 (松代高校)
 - 三位 斉藤裕夫 (松代高校)
 - 一般成年
 - 一位 竹内修一 (松代高OB)

◎総合成績

- 成年の部
 優勝 松代町スキー協会
 壮年の部
 優勝 松代町スキー協会

戸籍の窓口から

△一月受付分 (受付順)
 婚姻の届出なし

おたんじょう
 おめでとぅ



- 柳 勝喜 父早 苗長男 (蒲生)
- 室岡 正宏 父春 男長男 (仙納)
- 山賀 淳市 父敏 夫長男 (池之畑)
- 小野島友美 父静 夫長男 (会沢)
- 宮沢 正之 父正 翁三男 (松代)
- 若月 直美 父新 平長女 (海老)
- 西潟 文枝 父樹一郎 二女 (福島)
- 母マツエ
- おくやみ (死亡)
- 関谷 武則 六〇才 (松代)
- 樋口 ツ子 七七才 (松代)
- 柳 ハツ 七八才 (葦島)
- 斉藤 正雄 六三才 (田野倉)
- 金崎 シマ 七一才 (木和田原)
- 佐藤 哲三 四五才 (室野)

愛する心を育てる

「おとなりのケンちゃん、病気でごはん食べられないんだって。かわいそうね。早くよくなるといいのにな。——」

「このトンボ、まだ赤ちゃんかな。お父さんお母さんが待っているかも知れないから、逃がしてやろうよ、そら、とんでった。きつとうれいんだね。——」

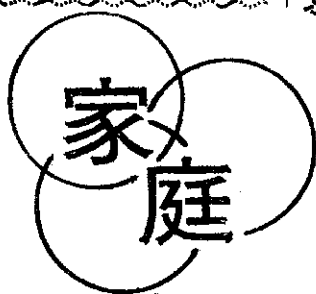
——こんな何気ない話し合いの中で、子どもの心は豊かに成長します。

子どもは、まず自己中心的です。それは、自分のいのちに責任をもつために、まず自分のことを大切に考えるようにという本能が与えられているのであって、少しも悪いことではありません。しかし、いつまでもそこにとどまっていたら、幸せにもなれず、大きな仕事をする人にもなれません。愛し合い、助け合う心や習慣は、幼い時から確実に育てられる必要があります。

「愛する」ということは「ひとごとと思わない」ということです。あらゆるものに「いのちのつながりを感じる」能力は、お母さんとの肌のふれ合い、いっしょに読む絵本、散歩をしながらのことばかけなどによって育てられるのであって、大きくなってからのお説教では手遅れです。

前回の〈自立〉と共に〈連帯〉に向かうことは、人間の成長の第二の、そして最大の原則なのです。

県立新潟女子短期大学教授 岸井 勇 雄



幼児の食べ物とからだ

子どもは、栄養ときれいな空気、そして日光の中で自然に丈夫に育つのです。昔、疫痢という重い病気がありました。この病気は今はありません。それは、医学の進歩もありますが、幼児の栄養と環境衛生がよくなかったためです。栄養の改善が病気をなくした1つのよい例です。

——子どもの食べ物は丈夫なからだを作る基本です。——

水分が重要なことは前にも述べました。次に大切なのは動物性蛋白質です。よく、お子さんの食が細いことを心配される方がおりますが、子どもは、ごはんよりもおかずを食べることが大切で、特に肉や魚（ソーセージ、ハンバーグ、かまぼこでもよい）が大切です。しかし、この年齢では、まだ与えない方がよい食べ物もあります。たとえば、生卵、さしみ、カレー、ラーメン、なす漬、たけの子、野菜類をことさらにすすめることはよくないし、大量のバターなどは注意して与えてください。間食も同じです。ガム、チョコレートなどはなるべくひかえた方がよいと思います。

一生懸命に育てたつもりでも、やせて小さい子どもがいます。その理由は医学でもよくわからない面があります。しかし、小さくても元気がよく、病気がなければ、そのまま様子を見てもよいと思います。

新潟大学医学部助教授 堺 薫

町の家庭教育学級⑩は3月15日13時からです〈就学準備〉総合センターで

1・2の3ちゃん 幼児の家庭教育シリーズ

■放送時間／BSNテレビ毎週日曜日 午前9.30～9.45

■再放送 毎週木曜日 午前11.20～11.35

放送日	テーマ	内容
3月3日(日)	この子にこの親	家庭における両親の役割は……夫婦の生活そのものが3才児の心に微妙な影響を与える。家庭環境の在り方について考えてみる。
3月10日(日)	じっとしてられない	3才児のからだの基礎づくりと活動のようす、そして健康な丈夫なからだをつくるには親としてどんな配慮が必要かをとりあげる。
3月17日(日)	この子を囲んで	親と子のあり方、2～3才児との接し方にポイントをおいて、いろいろ考えてみる。
3月24日(日)	おたずねにこたえて(2)	はがき通信の返信に対する回答。その2回目
3月31日(日)	これからはじまる	相談事業の総括と育児についてのこれからの方向づけを考える。

(5)

広報「まつだい」を 出稼先へ

この広報を読み終ったら、ふるさとのニュースを待ちわびる、出稼先の夫や父や子へ送って上げて下さい。

「家庭欄」は
今回で終了します。



民謡踊りの会

ここに紹介するグループは現在町にあるもので、新にグループづくりをされる方の参考になればと紹介するものです。(すでに紹介済みのもので、青年音楽同好会・松代柔道教室・松代書道教室・お茶の会)

△つくし会

一、目的 楽しく集い民謡踊りを学び向上をはかり、会員相互の親睦と生活にうるおいをもつ。(以下、三グループとも目的は同じ。)

- 二、講師 関谷八郎氏・高橋芳平氏 (町体育指導員・松代)
- 三、発会日 昭和48年4月7日
- 四、学習日 毎月第一・第三土曜日のよる。於・町総合センター

- 五、会員 二九名(全員女子)
- 六、会費 一人月額五〇円
- 七、他への協力 松代の民謡(踊)流しに参加、町文化祭芸能発表会に発表。
- 八、会長・事務局 会長 万羽セイ(主婦) 事務局 万羽ヒデ(〃)

△民謡同好会

- 一、目的 つくし会と同じ。
- 二、講師 山岸幸子氏 (主婦・室野)
- 三、発会日 昭和47年3月1日
- 四、学習日 毎月第一・第三月曜

△松代民謡会

日のよる、於・町総合センター又は、松代区民会館。

- 五、会員 二五名(全員女子)
- 六、会費 一人月額一〇〇円
- 七、他への協力 婦人会支部に要請により講師派遣、町文化祭芸能発表会に発表。
- 八、会長・事務局 会長 関谷静江 (主婦) 事務局 関谷セイ (〃)

- 一、目的 つくし会と同じ
- 二、講師 柳 武夫氏(旧姓福島 十日町市高島)
- 三、発会日 昭和47年9月19日
- 四、学習日 毎月第一・第三火曜日のよる。於・町総合センター。
- 五、会員 四〇名(全員女子)
- 六、会費 一人月額五〇円
- 七、他への協力 老人クラブ慰安表・町文化祭芸能発表会に発表。
- 八、会長・事務局 会長 関谷歌子 (主婦) 事務局 全 右



文芸

しづみ句会 48・12・7 紅茶宅

バス乗替え女教師も着ぶくれて日本の屋根の穂高に雪来たる雪積り開かぬ障子の有りにけり

空深く日焼田しめるキネの音 雪棚と云う冬囲い大きく屋

曲り屋の冬構して静まりぬ 曲り屋の大きく見えて冬囲い

関病の窓に冬日の暖かく 雪あかり一歩一歩たしかめて

寒雷や一寒火の我に待す

淡水 公明 静風 六花 たつぢ

冬川原さびるにまかせ忘れぬ

雪降って用水勘定べくくる

どか雪に陸の孤島となりにけり

あまりにもよわき桐苗冬囲い

うす黒く大黒柱古磨

出稼を急ぎしための夜業かな

俳句 柳 静水

氷柱皆雪を持ちて並びけり

吹雪つゝ白々日のありにけり

雪の上の雪捲いて去るつむじ風

一ところいぐり取りたる吹雪かな

粉雪に小さき旋風のありにけり

窓ガラス氷花百景現るる

拾う子のなくて豆撒き静かなる

雪壁にはりつきパスをよけて居る

俳句 滝沢 小林 一如

森も宮も神閑として大朝あした念入りに拭く受箱や賀状まつ年賀状無沙汰のおわび熱々と買いたての手ぬぐい入れて初湯かな

短歌「雑詠」

滝沢 小林登良吉

雪かむり浪海も此所は冬ごもり音も聞えず流れも見えず雪衣つけし松苧の峯挿し

一人静かに栃山を越す会う人もなきたそがれに重き足運ぶや雪のなだれつく道雪道で世話を受けたる旅先の名知らぬ人に幸多かれと

川柳 愚 老生

(題・過疎の中から) ヌー・ターン待ちきれないで親が行き